岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川沼田川水系関屋川支川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.5	調査位置	広島県三原市小泉町	北緯	34° 21′ 35.0400″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所	調査期間	2021／10／18～2021／10／19	東経	132° 58′ 36.5700″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 68.35m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦製DO-DRXSO / エンジン：ヤンマーNFD-10MK1 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				玉石混じり砂礫	茶褐～淡褐灰								礫はφ5～20mmのものが主体で，最大φ50mm程度の亜角礫混じる。砂は細～中砂主体。L=10～20cmの花崗岩玉石を混在する。	10/19 0.78
2	65.85	2.50												
3				砂礫	茶褐								礫はφ20～40mmの亜角礫主体。砂は中～粗砂主体。礫種は花崗岩で，最大φ50mm程度のものを含む。特に，GL-3.5m付近およびGL-4.6m付近は，φ30～50mmの比較的径の大きい礫を多く含む。	
4	63.50	4.85												
5				花崗岩	淡灰	w5	h4	D	V	d	D	0 [0] (100)	DH級の粗粒花崗岩。風化著しく，礫状コアで採取される。コアの形状を保つものの，指圧～ハンマー軽打により崩壊する。部分的に長石の粘土化が見られる。	
6												0 [0] (100)		
7												0 [0] (100)		
8	60.35	8.00												
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
38	1.15	38		
	1.45	300		
20	2.60	20		
	2.90	300		
20	3.15	20		
	3.45	300		
40	4.15	40		
	4.45	300		
50以上	5.05	50	130	
	5.18	130		
50以上	6.03	50	70	
	6.10	70		
50以上	7.03	50	70	
	7.10	70		
50以上	8.01	50	30	
	8.04	30		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/18	430	66／ケーシング	S/メタル	0	60	0	W1 0	0
			N/イト	0	120	1	W2 15	15
			S/メタル	0	60	0	W1 0	0
			N/イト	0	120	1	W2 15	15
			S/メタル	0	60	0	W1 0	0
			N/イト	0	120	1	W2 15	15
			S／メタル	0	60	0	W1 0	0
10/19	450	66	W／メタル	0	60	1	W2 15	15